

主催 瀬戸内海考古学研究会

共催 愛媛大学考古学研究室・東アジア古代鉄文化研究センター

## 平成28年度「瀬戸内海考古学研究会」第6回大会案内

日 時: 2016(平成28)年6月18(土)・19日(日)

18日(土) 12:50~17:00

19日(日) 9:00~12:05

会 場: 研究発表 愛媛大学 南加記念ホール

(松山市文京町3 愛媛大学城北キャンパス、正門すぐ北)

懇親会 愛媛大学城北キャンパス内レストラン“haco(ハコ)”

18日(土) 18:00~20:00

### テーマ “辺土の考古学—原始古代のもう一つの地域像—”

大平野中心の歴史叙述のなかにあって、ほとんど取り上げられることの少ない高地やリアス式海岸地域や半島などの主として弥生・古墳時代に光をあててみようという試みです。どんな文化的特性があるのか、未解明の課題にみんなで迫ってみたいと思います。

#### 6月18日(土)

開会挨拶	瀬戸内海考古学研究会代表 下條 信行	12:50~13:00
榎林 啓介(愛媛大学)	「稲作出現地とその周辺部への伝播の様相—長江流域を例として」	13:00~13:45
川口 雅之(鹿児島県世界文化遺産課)	「鹿児島県大隅半島」	13:45~14:30
坪根 伸也(大分県教育委員会)	「豊後南部地域」	14:30~15:15
—休	憩—	15:15~15:30
幡上 敬一(愛媛県鬼北町教育委員会)	「伊予南予地域」	15:30~16:15
久我 隆芳(高知県埋文センター)	「土佐の高地地域」	16:15~17:00

#### 6月19日(日)

近藤 玲(徳島県埋文センター)	「阿波南部地域」	9:00~ 9:45
川崎 雅史(和歌山県埋文センター)	「紀伊南部地域」	9:45~10:30
—休	憩—	10:30~10:45
シンポジウム	「辺土の遺跡遺物をどう評価するか」	10:45~12:00
閉会挨拶	瀬戸内海考古学研究会副代表 谷若倫郎	12:00~12:05

\* 発表時間は一人 45 分ですが、これには質疑応答時間5~10分を含みます。

\* 研究会への参加は無料で、資格は問いません。申し込みも不要です。

\* 発表要旨集(予稿集)は頒価 1,000~1,500 円前後を予定しています。

事務局: 〒790-0861 松山市紅葉町2-57 下條信行

TEL089-933-1809 Eメール:n.shimojo-kouko(a)aroma.ocn.ne.jp